



本郷学園

会津美里町立本郷学園
令和7年度学校だより No.26
令和7年11月6日
発行者 校長 星 潔

地域と共につくる本郷地区！

10月29日(水)に、第5回本郷学園区学校運営協議会を行いました。学校運営協議会とは、地域住民や保護者などが学校運営に参加する機関です。「コミュニティ・スクール」と呼ばれ、「地域とともにある学校づくり」を目指していきます。今回の学校運営協議会は、委員の皆様と児童生徒代表による「熟議」と呼ばれる話し合いを行いました。議題は、「本郷地区クリーンキャンペーン大作戦」と「あいさつ運動」です。5つのグループに分かれて熟議を行いますが、まずは個人で成果と課題を付箋に記入します。委員の皆様はもちろん、子ども達もたくさんの意見を記入しました。その後、その付箋をもとに、グループごとの話し合いを行いました。どのグループも活発な話し合いをしたり、模造紙に分かりやすくまとめたりしました。話し合いを受けて、本郷地区をより「ステキな町」にするための改善策ややってみたいことを付箋に書いて、話し合いを行いました。最後に、グループからの提案を1つ選んで画用紙に書き、グループの代表者が全体発表をしました。グループからの提案は下記の通りです。



模造紙にこのようにまとめました

Aグループ:あいさつ運動を継続する。

Bグループ:あいさつ運動を実施する日を増やす。

Cグループ:あいさつ運動を児童生徒会だけでなく、学級の代表者や他学年の人などたくさんの方が関わる。さらに一人一人があいさつについて反省する時間を持つ。

Dグループ:定期的に町全体でごみ拾いやあいさつ運動を行い、習慣化を図る。

Eグループ:あいさつ標語をみんなで考える。

これからはグループの提案の中から、実現可能なものから実施できるように進めていきたいと思います。提案ではあいさつに関するものがほとんどでしたので、ご家庭でも日々のあいさつに重点を置いていただければありがたいです。何といても私たちの基本はあいさつですから。学校、家庭、地域が一体となって、これからも課題解決に進んでいきたいです。学校運営協議会委員の皆様、本当にありがとうございました。





SNS講座を行いました（4～9年生）！

11月4日(火)に4～6年生が5校時、7～9年生が6校時に、福島県警察本部 少年女性安全対策課 会津少年サポートセンター様から講師をお迎えし、SNS講座を行いました。本校でも、スマートフォンやタブレットの所持や、オンラインゲームへの参加など、その割合が増えてきています。これからの時代、絶対に欠かすことができない、スマートフォンなどの電子機器。だからこそ正しい知識を持ち合わせていないと、知らないうちに大変なことに巻き込まれることがあります。近年、闇バイトをはじめ、中高生が犯罪に加担する事案も発生しています。ネットでの犯罪に巻き込まれたケースの9割はフィルタリング設定をしていなかったそうです。講師の先生からお話が合った通りに、ご家庭でのルールづくりとフィルタリングの設定を各ご家庭でどうぞよろしくお願いいたします。子ども達が生涯にわたって、安全に正しく端末と付き合っていけるように、「**チーム本学**」ではしていきたいものです。



校長のひとりごと

メジャーリーグのワールドシリーズが、ドジャースの優勝でついに決着しました。それにしても本当に最後までどうなるか分からない、手に汗握るシリーズでした。大谷選手、山本選手、佐々木選手の日本人3選手もそれぞれの役割をしっかりとこなして優勝に貢献しました。特に山本選手はドジャースの4勝のうち3勝をあげる活躍で、見事にワールドシリーズMVPを獲得しました。特に最終決戦の第7戦では、中0日、連投での登板で、見事にピンチを抑えきり優勝投手となりました。岡山県出身の山本選手は、中学時代は河川敷のグラウンドでボールを追いかけていたそうです。当時のチームの会長は「こんな河川敷のグラウンドから世界一のエースが生まれるなんて考えもしなかった。子ども達にも『僕もダイヤの原石になる』と思って頑張ってもらいたい」と話したそうです。たとえどんな環境でも、どんな場所からでも、本人の気持ちと努力があれば、夢を叶えることは可能だと改めて思いました。この本郷学園からも、将来、どこかの分野で世界一を達成する子ども達が出てくるのではないかと思います。そのためにも子ども達には、今できることを、自分に負けずに努力できるような強い心を持ってほしいと思います。誰しものがダイヤモンドとなり得るのですから。